

創立20周年に寄せて

NTTデータ 創立20周年に寄せて



日本電信電話株式会社
代表取締役副社長
宇治 則孝

NTTデータの創立20周年を心からお慶び申し上げます。

創立以来の外部環境を振り返ってみると、バブル経済の崩壊や長期のデフレを目の当たりにすると共に、インターネットやモバイルを活用した新しいビジネスモデルの誕生など、大変大きな変化の時代でした。

このような激動の時代に、「バリュークリエイター」「Insight for the New Paradigm」「Global IT Innovator」など、私にとっても印象に残る数々の経営コンセプトをベースに、変化に対応しながら事業を発展してきたことは、ひとえにNTTデータグループの皆様の努力の賜物と思います。

私事です、1985年に電電公社からNTTに民営化される大変化の時には本社に所属していましたが、1987年にNTTデータの分社が決まった際に当時のデータ通信事業本部に移り、以来1988年の分社を経て20年間、NTTデータの発展とともにソリューションビジネスの世界に身をおけたことは大変良い経験となりました。その間、主として法人分野や新事業分野に携わり、お客様とのリレーションを深められたことは、私自身にとって今でも大きな糧となっています。パートナー展開やコンサルティング力強化などによる法人分野の拡大もあり、念願の1兆円企業となり、世の中へのプレゼンスやNTTグループ内での重要性が増大したことも大きな喜びです。今後NTTグループが「サービスを創造する企業」として発展していくために、NTTデータでの経験を役立てていきたいと考えています。

本年3月から、NTTグループは「フレッツ 光ネクスト」として次世代ネットワーク（NGN）のサービスを開始しましたが、今後はNGNを利用した多彩なサービス・アプリケーションの提供が求められます。ネットワークとアプリケーションが両輪となり、豊かなコミ

ュニケーション環境を創造し、企業活動の効率化や新たなビジネス機会を創出することにより、ブロードバンド・ユビキタス社会の更なる発展や日本の成長力をドライブしていくことが期待されています。

また、NTTグループの成長戦略において、今後の重点的な取組み分野として、①NGN・3Gを活用したビジネスの創造、②ソリューションビジネスの拡大、③新分野ビジネスの発展、④国際ビジネスの拡大、を掲げています。NTTデータは、「ソリューションビジネスの拡大」への取組みの核となる会社であるとともに、NGNを活用したサービス・ビジネスの創造や国際ビジネスなども含め、NTTデータの持つポテンシャルと特性を活かし、重要な役割を果たすことを大いに期待しています。

NTTグループの発展のためには、技術開発力の強化とともにお客様目線やパートナーの立場でソリューションやサービスを検討していくことが必要であり、そのためにもそういうマインドを持っているNTTデータのアクティビティは、NTTグループにとって非常に重要なものです。

NTTデータは、創立20周年を契機に、更なる発展に向け新しいフェーズに入っていく時だと思えます。これからも激動の時代は続くと思いますが、「パラダイムシフト」に対応しNTTデータの「進化する企業」に向けて、関係の皆様の一層のご活躍を切に願って止みません。私もNTTグループ全体の立場から、NTTデータの今後の益々の発展を期待し、応援していきたいと思えます。

創立20周年に寄せて

グローバルビジネスで グループ連携による シナジー効果を発揮

NTTデータ創立20周年、
大変に、おめでとうございます。

NTTデータと当社NTTコミュニケーションズ（NTTコム）は、NTTデータ創立以来、両社で協力し、多くのシステムやサービスをお客様に提供しております。例えば、NTTデータで提供している銀行ANSERやCAFISサービスでは、NTTコムのパケット交換サービスを利用させていただいておりますし、多くの公共・企業システムにおいて、情報システムをNTTデータ、ネットワークシステムをNTTコムで担当するなど、両社で協力してシステム提供をしてきております。一方、NTTコムの回線サービスを支えるオペレーションシステムでは、NTTデータの協力を得て、NTTデータの情報システムに関するノウハウとNTTコムのインターネット、IPシステムのノウハウを結集することで、お客様によりよいサービス・システムの提供と市場の拡大を進めることができると考えております。

今後の協力関係では、グローバルビジネスにおいて、その力がさらに発揮されるものと思います。NTTコムでは、世界21カ国に51拠点に現地法人を配置しており、現地において、営業、システム構築、運用などの業務を提供しております。サービスも、Arcstar IP-VPNサービスを南北アメリカ、欧州、中近東、アフリカ、アジア、オセアニアの200地域以上で提供し、データセ



NTTコミュニケーションズ株式会社
代表取締役社長
和才 博美

ンターも34拠点で提供しております。このグローバルネットワークサービスに対し、英国の著名な企業が主催するWorld Communication AwardにおいてAT&T、BT、Orangeなどの多くのキャリアを抑え、Best Customer Care、Best Global Carrier、Best Managed Service賞を受賞するなど、国際的な認知度も向上してきております。今後も日系企業の国際展開に合わせ、グローバルビジネスを充実、拡大してゆく予定です。一方、NTTデータも独Itelligence社の買収などを通して、情報システムを中心にグローバル展開を活発に進めておられますので、NTTコムが提供するグローバルリソース（ネットワークとデータセンターを中心としたセキュリティ、ホスティング等）とNTTデータのアプリケーション開発や運用を組み合わせることで、これまでにない強力なグローバルサービスを日系企業、外国企業に提供できると考えております。

今年はNGNが開始され、NGNを利用した映像配信やSaaSなどの新しいサービス基盤を積極的に提供する予定です。今後もこのようなサービス提供をはじめとして、NTTデータとの協力関係を更に強化し、新たな市場開拓を進めたいと思います。

創立20周年に寄せて

移动通信の発展は NTTデータとともに

創立20周年、おめでとうございます。

NTTデータはNTTドコモにとって、時を前後してNTTから分離独立した、いわば先輩であり、会社設立や株式上場など様々な面でお手本とさせていただいたのではないかと思います。振り返ってみますと、データ通信と移动通信と一見すると分野は異なりますが、実は移动通信発展の影には、NTTデータとドコモとの協力関係がありました。ひとつには、ドコモのサービスを提供していくためのシステム構築におけるNTTデータの貢献があります。もうひとつは、法人営業での最有力なパートナーとしての関わり合いです。

まず、システム構築における例として、昨年6月に導入した新料金システムが挙げられます。料金プランの充実は、その重要性を増しているのに対し、旧料金システムは、昨今の携帯電話キャリア間で加速する料金競争に迅速に対応することができなくなっていました。NTTデータに構築していただいた新料金システムは、キメの細かい料金サービスをお客様に提供する柔軟性と迅速性を持っており、この1年間で、『ファミ割★MAX50』『バリュープラン』『家族への国内通話24時間無料』などの新料金サービスの導入を従来では考えられないスピードで成功させ、ドコモの競争力強化に大いに貢献しました。

システム構築におけるもう一つの例として、『iモード』プラットフォームのゲートウェイの更改が挙げられます。2001年にiモードの契約者の急増とFOMA導入によるデータ通信量の急増を見据え、ゲートウェイのデータ処理能力を向上させる際にNTTデータの力をお借りしました。このことが、その後も、定額制の導入等も経て依然として拡大しているiモードで大きなトラブルなく安定した運用ができていくことに大いに役立ったことと思います。上に挙げた二つの例は、いずれも、技術力や信頼性を誇るNTTデータに、ドコモのお客様サービスや通信サービスを陰で支えていただいている例です。



株式会社NTTドコモ
代表取締役副社長
山田 隆持

一方、法人営業本部長の私にとって、法人営業のパートナーとしてのNTTデータとの協力関係もまた、重要なものであります。法人のお客様からのご要望は、以前は、外回りの営業マンに携帯電話を持たせたいというシンプルなニーズだけでありました。しかし最近では、営業現場や物流管理などの業務効率化や企業が新たな収入源を創り出すツールとして携帯電話を用いたいという声お客様から上がっております。このようなニーズにお応えするためには、携帯電話だけではなく、移动通信、固定通信、情報処理を融合した『トータルソリューション』が必要とされるのは言うまでもないでしょう。NTTデータは、高いシステム開発力とプロジェクトマネジメント力に裏打ちされた豊富なシステム導入経験を持っており、ドコモがトータルソリューションをお客様に提供する上で情報処理面での大変重要なパートナーであります。最近話題となっている、たばこ自動販売機の成人認証システムにおける協業は、両社の強みがうまく噛み合った例の一つであります。今後も両社の持つ強みを生かしたトータルソリューションを用意し、幅広い業種の法人のお客様に共同でアプローチし、法人ビジネスの拡大に協力して取り組んでいきたいと考えています。

NTTデータとNTTドコモとは、これからも情報通信市場をリードしながら、さらに関わり合いを深めていくことと思います。時には協力し、時には切磋琢磨しながら、ともにNTTグループの仲間として、情報通信の発展とお客様へのベストサービスの提供に力を尽くしていきたいと考えています。